

平成28年度行政事業レビュー「公開プロセス」

# 観光・防災Wi-Fiステーション 整備事業

補 足 説 明 資 料

平成28年6月28日  
情報流通行政局  
地域通信振興課

# Wi-Fi環境整備の全体像

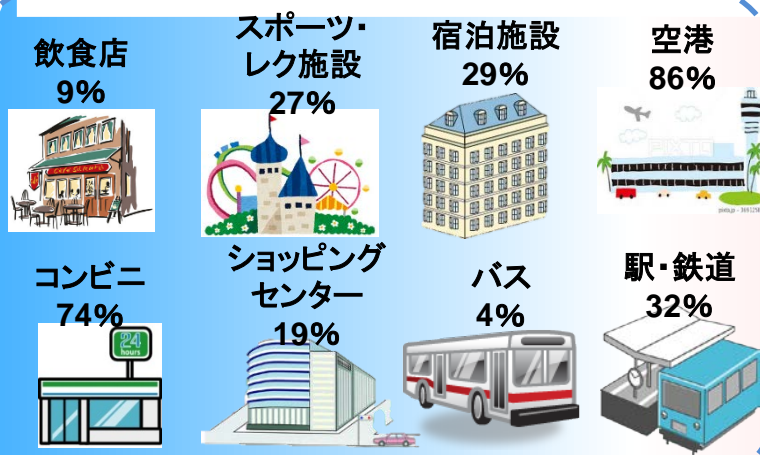
Wi-Fi環境の整備は、投資インセンティブの大きさによって、

- ① 民間が整備を主導する商業施設
  - ② 行政が整備を主導する公共的な観光・防災拠点
- の2つに分類され、官民が連携しながら、それぞれ整備を推進

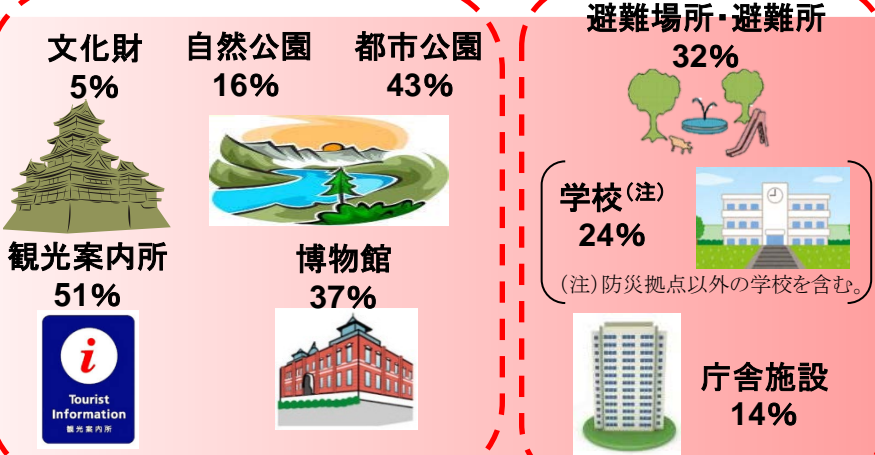
➡ このうち、総務省が整備支援を実施しているのは、②の公共的な観光・防災拠点

民間主導

## ① 商業施設



## ② 公共的な観光・防災拠点



行政主導

施設所有者への働きかけを実施

整備を行う地方公共団体への支援を実施

※ 図中の「%」は各施設・拠点の整備率。①の整備率は、平成27年5月の総務省研究会報告の調査結果(推計値)の数値。②の整備率(学校を除く)は、同年5月の当該調査結果(推計値)の数値を母数に、28年2月の地方公共団体実態調査結果(推計値)から算出。なお、学校の整備率は、文科省の調査結果(平成27年3月)の数値。

## 概要:

- 公共的な観光拠点及び防災拠点<sup>(※1)</sup>におけるWi-Fi環境の整備を行う地方公共団体・第三セクターに対し、その費用の一部を補助<sup>(※2)</sup>する。

(※1)観光拠点:観光案内所、文化財、自然公園・都市公園、博物館等

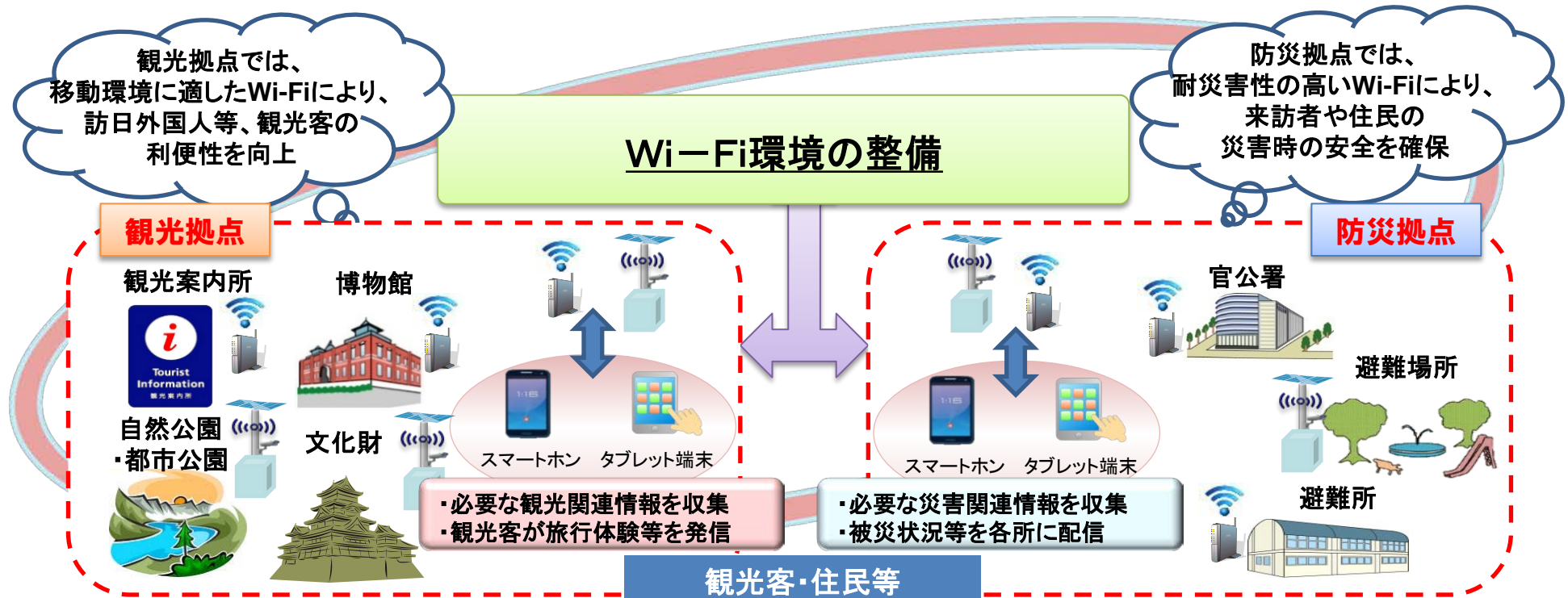
防災拠点:避難場所、避難所、官公署

(※2)補助率:地方公共団体:1/2、第三セクター:1/3

- 平成28年度当初予算:2.6億円(2.5億円<27当初>及び8.0億円<26補正>)

## 目標:

外国人受入環境の整備や地域の活性化等に寄与するため、主要な観光・防災拠点におけるWi-Fi環境の整備を2020年に向けて推進する。

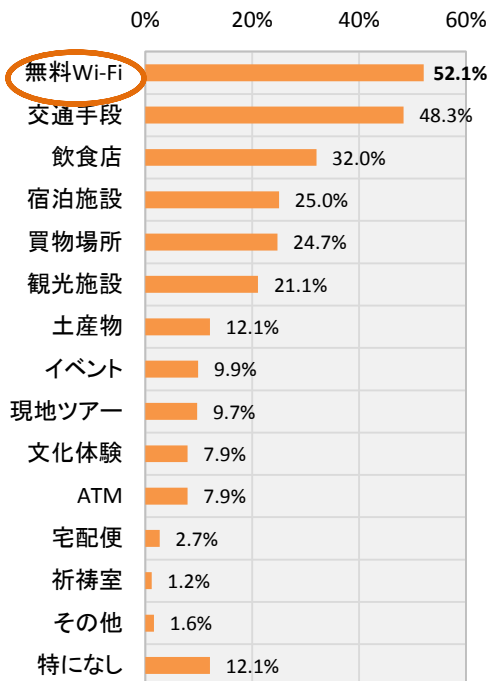


# 訪日外国人による日本のWi-Fi環境の評価

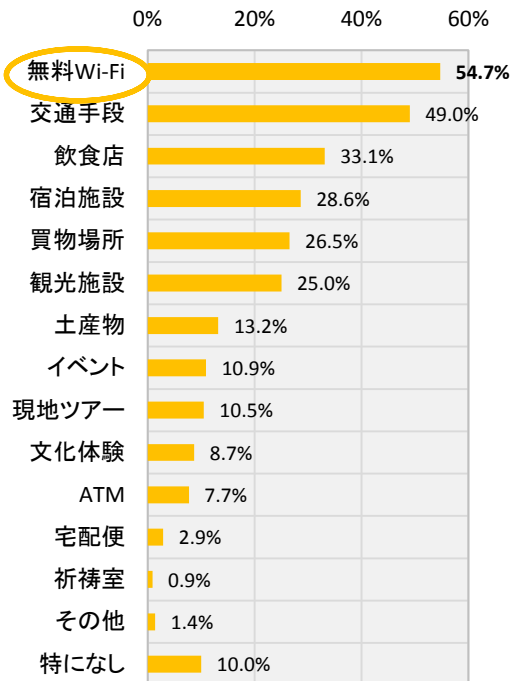
- 訪日外国人にとって日本滞在中にあると便利な情報は、「無料Wi-Fi」(観光・レジャー目的で54.7%)が一位。
- 日本の無料Wi-Fiに「満足」した訪日外国人は63.6%。「不満足」が3.7%、「十分ではない」が32.7%。
- 訪日外国人の利便性を高めるには、スマートフォンやタブレット端末等への観光情報等の提供を円滑に行うことが重要。

## 日本滞在中にあると便利な情報

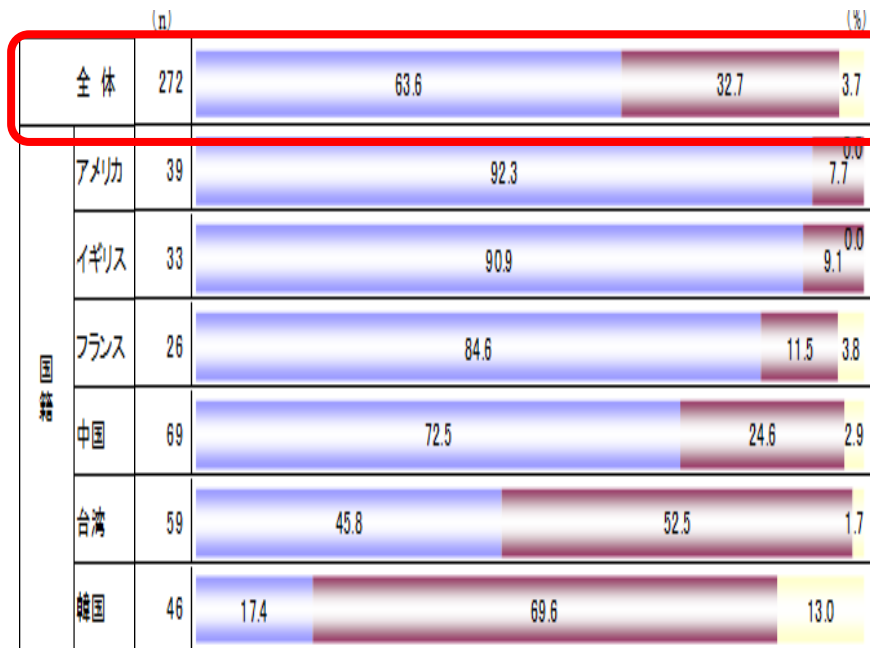
### ◆回答者全体



### ◆観光・レジャー目的



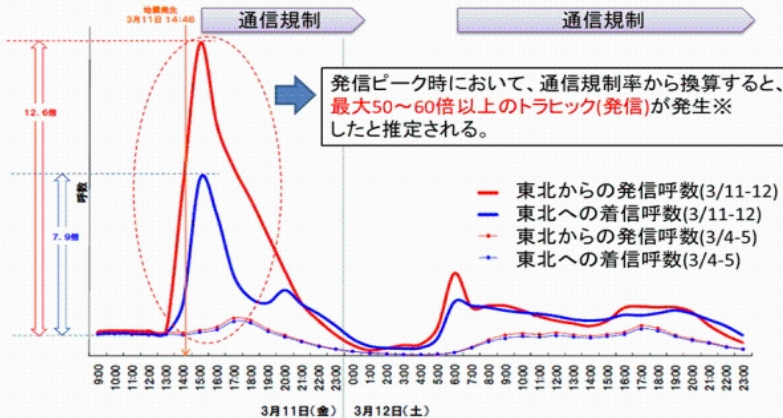
## 日本の無料Wi-Fiに対する満足度



■満足した ■十分ではないが、特段大きな問題はなかった ■満足できなかった

# Wi-Fiの耐災害性

図：東北地域における輻輳発生と通信規制の例



※15時台において80%の通信規制を行っていたため、 $12.6 \div (1-0.8) = \text{約}60$ 倍のトラフィックと予想できる。

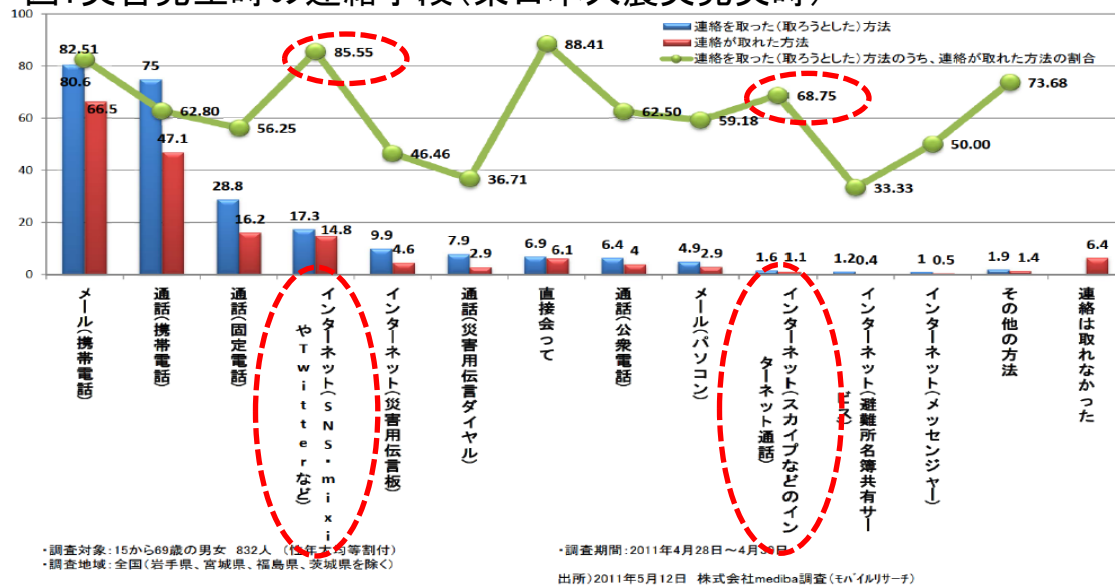
出典「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に関する検討会 ネットワークインフラWG(第2回)」配付資料より作成

SNSやスカイプなど、インターネットを活用した連絡手段の有用性が高い

災害発生時、音声通話は輻輳により通信規制を行わざるを得ない状況

平成23年12月27日公表「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方」についての最終取りまとめより  
(総務省「大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に関する検討会」の最終取りまとめ)

図：災害発生時の連絡手段(東日本大震災発災時)



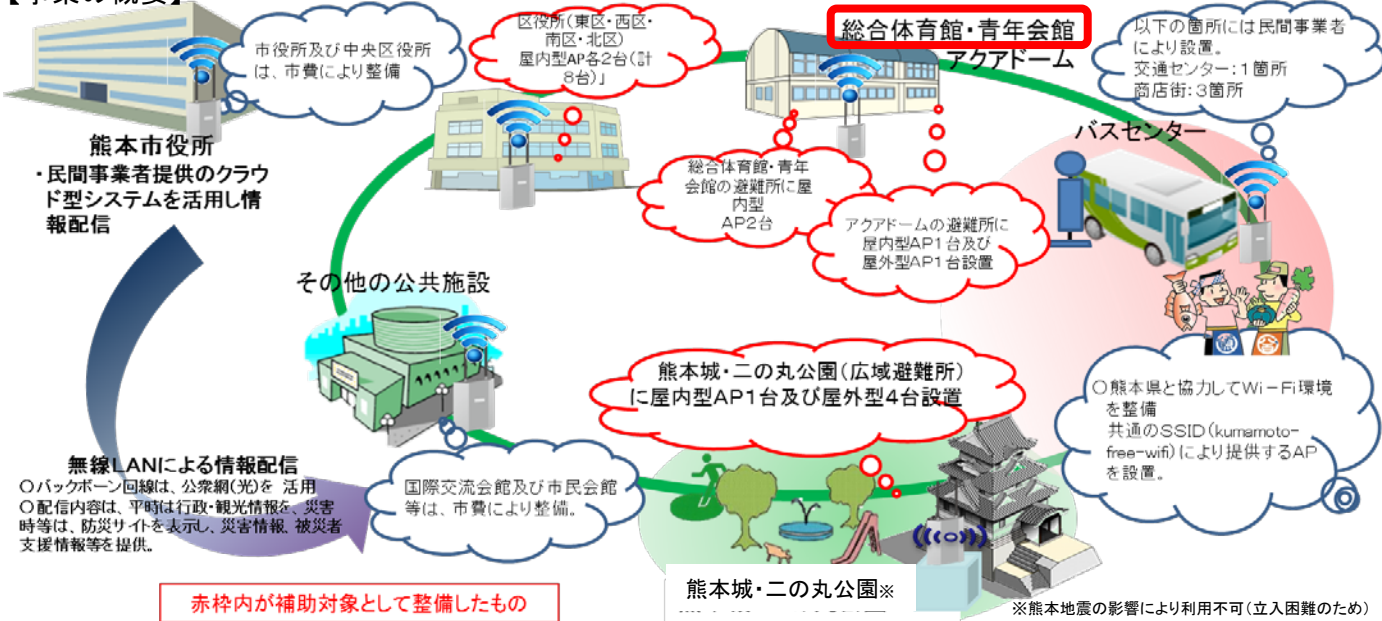
これまでの災害時の経験を踏まえると、固定電話や携帯電話が輻輳等のために利用できない場合でも、Wi-Fi等を通じてインターネットにアクセスすることにより、災害情報等を効果的に受発信することが可能となっている。



## 熊本市防災情報ステーション等整備事業

- 災害対策本部が設置される防災拠点施設(東・西・南・北区役所)や避難場所(熊本城、二の丸公園、熊本市総合体育館・青年会館、アクアドームくまもと)にWi-Fi環境を整備するとともに、これらを通じて市民や観光客等に防災情報を配信する機能を有する情報通信環境を構築。
- 「防災情報ステーション等整備事業」(25年度補正)による補助金1,000万円を活用し、市内の防災拠点4箇所及び避難場所4箇所に整備。

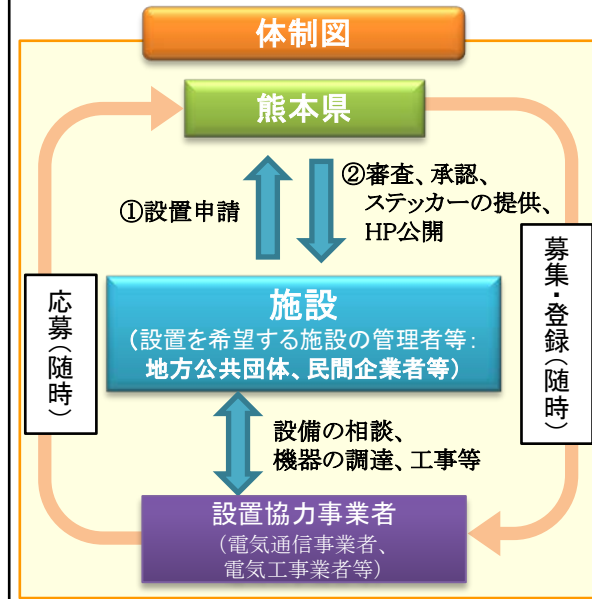
### 【事業の概要】



### 事業の特長

- ・ Wi-Fiにアクセスした際に熊本市のホームページを表示し、生活情報、観光情報等を提供。災害時には、熊本市のホームページを防災サイトに切り替えることにより、災害情報や被災者支援情報等を提供。
- ・ 日本語、英語、中国語<繁体字・簡体字>、韓国語の5言語に対応。
- ・ 青少年フィルタリングを設定し、有害サイトへのアクセス制限を実施。

## くまもと無料Wi-Fiについて



- ・ 熊本県が国内外からの来訪者等の利便性向上、災害時の情報伝達手段確保等を目的として実施するWi-Fi利用環境整備の取組。
- ・ 熊本市をはじめとする県下の地方公共団体や民間企業と連携し、共通SSIDによる認証を実現。

「くまもと無料Wi-Fi」のサービス提供スポットは、県内で169施設431箇所。(平成28年3月時点)



## 実際の設置・利用状況



熊本市総合体育館・青年会館  
(避難所)



4月14日以降、現在も避難所として利用。  
最大で550名(4月16日)が避難し、現在も  
170名(5月29日現在)が避難中。



館内のWi-Fiアクセスポイント

## 利用数※

◆熊本地震の発生を受け、利用が拡大。特に発災直後の4月16日(土)の補助対象施設におけるWi-Fi利用数は1日当たり約2,500回。

【補助対象施設(8箇所)における利用数】

	平成28年3月の実績	平成28年4月の実績
1ヶ月の累計	7,321回	16,205回
うち青年会館	340回	3,768回
1日当たり平均	約236回	約540回
うち青年会館	約11回	約126回

※ 利用者がWi-Fiに接続した回数。同一人物であっても、接続が解除された際に再度接続すれば改めて換算される。



熊本地震の発生を受け、接続開放中。  
通常時と異なりメールアドレスの登録不要。

# Wi-Fiの整備事例(徳島県)①

## 「Wi-Fi(ワイワイ)王国! とくしま」プロジェクト (Tokushima Free Wi-Fiの目指すところについて)

【災害時】避難所・公園・防災拠点等へ公衆無線LANを整備し、通信の確保を行う

◆避難所や公園、防災拠点に公衆無線LANアクセスポイントを整備することにより、災害時の通信手段を確保



◆屋外には、災害時に避難住民が無線LANを活用して安否確認、避難所情報等の収集を行える「防災情報ステーション」を整備!



- ◆災害時には、各拠点からのインターネット接続に切り替え、センターサーバへの負荷一極集中による障害を回避する。
- ◆避難住民は、**無認証・無制限**で簡単に公衆無線LANに接続できる。
- ◆一部施設では、「太陽光パネル」や「衛星設備」を活用し、電源の喪失や断線のリスクを回避する。

【平時】観光情報の提供・発信等への積極的な活用により、災害時にも普段から使い慣れた通信手段として利用できる

◆積極的に地域振興に活用し、観光情報の提供、イベント情報の発信等、SNSを活用し、徳島の魅力を世界に向けて発信!



◆QRコードを活用し多言語で特産品等のPRを行うことにより、外国人観光客の満足度向上の推進



災害時と平時  
リバーシブル  
な活用

◆案内ホームページや認証後の画面に、津波による浸水区域や避難所情報を表示する県のHPへのリンクを表示することにより、避難所情報や防災情報を普段から身近なものに!

◆集落の特性を活かしたビジネスや、高齢者のボランティアガイドなど、ICTを活用した地域ネットワークの更なる充実



◆民間施設にあっては、徳島県公衆無線LAN推進協議会を活用し、無線LAN環境の整備を推進

県内全域にブロードバンド通信網が普及している特長に着目し、「県内どこでも、誰でもICTを楽しめる」ように、エリア拡大を実施

## とくしま公衆無線LAN推進協議会の体制

- ・平成23年12月に、県・市町村及び民間企業・団体が構成する協議会を設置。(現在41団体)
- ・官民協働で、「交通施設」、「観光施設」、「公共施設」など県内主要施設へ公衆無線LANの設置・拡大に取り組んでいる。



役割

- ・ 会員が中心となり、公衆無線LANを設置
- ・ 公衆無線LANサービスエリアであることの周知(周知用ステッカーの貼付、Webマップへの掲載等)
- ・ 利用普及に向けた検討

## 総務省補助事業の特長

- ・ 「防災情報ステーション等整備事業」(25年度補正)による補助金1.43億円を活用し、避難所を中心に、徳島県本庁舎、鳴門総合運動公園など112箇所にWi-Fiを整備。
- ・ 「観光・防災Wi-Fiステーション整備事業」(26年度補正)による補助金1,200万円を活用し、<sup>みなみちよう</sup>美波町観光案内所(道の駅<sup>ひわさ</sup>「日和佐」内)、<sup>い</sup>祖谷の<sup>や</sup>かずら橋(国指定重要有形民俗文化財)など14箇所にWi-Fiを整備。
- ・ 同事業(27年度当初)による補助金1,000万円を活用し、鳴門市ドイツ館(県指定有形文化財)など8箇所にWi-Fiを整備(予定)。
- ・ 案内ホームページは日本語、英語、韓国語、中国語(簡体字・繁体字)の5言語に対応。
- ・ 有害サイトをブロックするフィルタリングや不正利用を防ぐためにアクセスログを記録。



# Wi-Fiの整備事例(徳島県)②

## 実際の設置・利用状況



館内のアクセスポイント



### ○ 美波町観光案内所(道の駅「日和佐」物産館内)(徳島県海部郡美波町)

- ・ 道の駅「日和佐」は、町の中心地に位置するJR牟岐線日和佐駅と国道55号に接して立地しているため、道路利用者だけでなく、町民等も利用しやすい。
- ・ お遍路の札所である薬王寺も近いため、観光客も多い。
- ・ 平成28年3月、国土交通省より、地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるものとして重点「道の駅」候補に選定された。

## 利用数※

◆平成28年4月より実運用開始(26年度補正の補助対象施設)。

【補助対象施設における利用数(12箇所)】

	平成28年4月の実績	平成28年5月の実績
1ヶ月の累計	2,319回	2,804回
うち美波町観光案内所	683回	958回
1日当たり平均	約77回	約90回
うち美波町観光案内所	約23回	約31回

※ 利用者がWi-Fiに接続した回数。同一人物であっても、接続が解除された際に再度接続すれば改めて換算される。

### 【利用可能場所の周知】

- ・ 利用可能場所をサイトやステッカー等で周知。(ステッカー、のぼり、アクセスマップ)



## 「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)(抜粋)

### ○第4次産業革命を支える情報通信環境整備

外国人旅行者等が観光・災害時にも利用しやすいWi-Fi環境を実現するため、2020年までに主要な観光・防災拠点における重点整備箇所(避難所・避難場所に指定された学校等を含む(推計29,000箇所(※1)))について、国が本年中に作成する整備計画(※2)に基づき、無料Wi-Fi環境の整備を推進する。

(※1 箇所数は今後更に精査)

(※2 今後、毎年度改定を予定)



### 総務省の取組

1. 2020年までに主要な観光・防災拠点における重点整備箇所について、無料Wi-Fi環境の整備が進むよう、積極的な周知を実施  
⇒ 全国キャラバン、知事会議、市長会議、町村長大会、教育長会等を活用
2. 周知結果を踏まえ、本年中に、各地方公共団体の要望を基に、整備計画を作成
3. 整備計画に基づき、無料Wi-Fi環境の整備を推進